

議会広報常任委員会での検討項目（8.12.08議運で決定）

No.	検 討 項 目	提案会派・議員	対応状況	検討経過	備考	
4	広報・広聴	① 議会広報（だより・HP）の外部委託の再検討 （備考：印刷・配布ではなく作製部分の委託化の検討）	尚政会			○逗子市 制作：レイアウト含め事務局で大部分を作成 規格：12～16P 約2万7千戸×4回 250万程度 ○三浦市 制作：レイアウト固定 原稿を議会及び事務局で作成し、事業者がそれを元に作成したものを議会で最終確認 規格：16p固定 約1万7千戸×4回 204万円程度
		③ 議会だよりの予算編成を第2回定例会から第1回定例会までとし、第1回定例会の編集作業を迅速に行えるようにする。	日本共産党			年度をまたいでの契約を行う方法は主に以下の3とおり ・長期継続× →原則として賃貸借・清掃保守管理等を対象にしており、印刷業務については条件を満たさない ・債務負担行為△ →毎年、6月議会で議決を得て同月中に入札・契約を行い、7月頭から編集をする必要があり、日程上余裕のない運用に ・繰越明許× →原則として緊急対応のための手法で、毎年行うべきものではない
		② 町内で行われる様々なイベントに議会ブースを開設し、様々な意見を聴取する。	日本共産党			確認点 ○想定するイベントの種類 ①町主催（共済）のものに限る ②町後援のものを含む ③その他のイベントを含む ○出席するイベントの選定 ①年間どの程度の数出席するのか ②出席する・しないイベントをどのように選定するか ③出席する議員をどのように選定するか ○設置するブースはどの程度の規模を想定するか
		④ 各字のイベントに議会ブースを設けて、議員が常駐し、町民の要望を聴く場とする。	金崎議員			○会議のweb開催は技術的には可能 ○考えられる課題は以下のとおり ①相手方のネットワーク環境が必須 ②事前に招待コードをお送りするアドレス等の収集が必須 ③多人数が意見を述べる形式には不向き
		⑤ 町民との会議等で、町民のオンライン参加を可能にするシステムの構築。	金崎議員			
		⑥ 公聴会の充実。 現状行われている各種団体との意見交換会の積極的な呼び掛けに加え、子ども議会や主権者教育を新たに取り組むことで、より開かれた持続可能な議会を目指す。	石岡議員			